

元気いっぱい Let's GO

笠松フレンド会

緊急事態宣言が空け、笠松フレンド会は元気いっぱい運動を中心に活動しています。たたらリハビリテーション病院と笠松フレンド会の出会いは2015年の介護予防教室。当時福岡市主催で教室が開催され、講師として当院が参加した事に始まります。教室自体は2ヶ月程で終了しましたが、参加された方々で自主グループ発足、そこからふれあいサロンにまで発展しています。

現在も15名程度の人数で活動を続けられており、コグニサイズ*という運動では、難易度の高い課題をスイスイとこなされています。コロナ禍においても運動習慣が身につけている為、毎年行っている体力測定では体力が維持できている方が多くおられました。コロナの影響で開催できない日もありますが、笑顔の絶えない笠松フレンド会を今後も応援していきます。

*コグニサイズ・・・
当院も促進協力施設として
認定を受けている認知症
予防運動プログラム



担当は健康運動指導士の資格
を持つ事務部の山田耕平さん

7月15日開催の笠松フレンド会



参加者みんなでガッツポーズ



ラダー(はしご)を使った
頭と体の体操

たたらリハビリテーション病院通信

みんなそろって

タラッタ

たたら

vol. 47
2021年9月号

コロナに負けるな

今年も元気に夏まつり



新型コロナによる面会制限で、家族と会えず寂しい思いをしている入院患者さんに、少しでも元気になってもらおうと、今年も3階～5階の各病棟で「夏まつり」を開催しました。



実は看護師長?

ナイフでりんごをキャッチ

ヒゲダンス2人組の華麗な技
(4階病棟)

お見事! (4階病棟)

先生からご挨拶 (6階病棟)

浴衣でピース
(6階病棟)

勇壮な祭りや
花火の映像

映像で行った気分 (5階病棟)

得意の踊りを披露
(6階病棟)



発行元/公益社団法人福岡医療団 たたらリハビリテーション病院広報委員会
〒813-0031 福岡市東区八田1-4-66 TEL:092-691-5508 FAX:092-691-5634

<http://www.tatara-reha.jp>

たたらリハビリ



たたらリハビリテーション病院は、日本医療機能評価機構認定病院です。

よりよい医療のために

医局勉強会



さだかりのぶよ
講師の貞刈暢代副院長

当院の医局では、治療にあたって経験した事例や、各医師の専門分野の知識や情報を医師同士で共有し、医療の質向上につなげるための勉強会を月2回のペースで開催してきました。この間、コロナ対応のための緊急の検討事項が多かったため、時間が取れずに中止する状況が続きましたが、9月9日に久しぶりの勉強会を開催することができました。

この日は、貞刈副院長から発作性交感神経過活動（PSH）の事例について報告を受け、文献も交えて検討を行いました。



植物との触れ合いで

リフレッシュ



コロナ禍のもと、入院患者さんは外出も制限されています。6階病棟では患者さんが少しでもリフレッシュできるよう、リハビリを兼ねて花壇（といっても移動可能な鉢植えですが）で植物と触れ合う機会をつくっています。



ネギを収穫



*感染対策専門看護師のアドバイスの下で、病棟内に鉢植えを持ち込んでいます。

入院中も 食べる楽しみ♡

イベント食



当院の入院給食は、おかず（主菜・副菜）を千鳥橋病院のセントラルキッチンで調理・盛り付けしたものをチルド状態で移送し、専用カートで再加熱するクックチル方式（飛行機の機内食のような方法）で提供しています。そのため、急性期病院の千鳥橋病院と基本的に同じメニューが提供されます。そこで、長期に入院される方が多い当院の患者さんに、より満足し喜んで頂く食事を提供する為、毎月の行事食とは別に2019年度より当院栄養科独自のイベント食を開始しました。

イベント食は、主食や汁物、デザートなど、毎月季節に応じた献立を考えて、工夫しています。ピシソワーズを提供した時は、冷たい汁物を飲むのが初めてだった患者さんが多く、最初は驚かれていましたが、美味しい

19年度 栄養科イベント食



20年度 栄養科イベント食



と好評でした。冬の寒い時期には、心も身体も温まるように温かいぜんざいやあんかけ茶碗蒸しを提供し、喜んで頂きました。

これからは治療食でありながらも入院中の楽しみとして頂けるような食事提供を目指して取り組んでいきたいと思っています。

